



2010年8月のプレスリリースより

2010年第2四半期の売り上げは\$96.6百万米ドル(約87.3億円)で、希薄化後1株あたりの利益は\$0.52でした。これは、今年6月1日付けの予測(売り上げ\$90-94百万ドル、希薄化後一株当たりの利益\$0.40-45)よりも多い金額でした。前年同期は売り上げ\$67.4百万ドル、希薄化後一株あたりの損失は(\$4.31)でした。

事業部別の営業活動内容は下記の通りです。

1. 高機能フォーム

2010年第2四半期の売り上げは\$38.9百万ドルで、前年同期比で53%アップしました。当事業部の製品は、その幅広いソリューションによって大量輸送市場における新規採用が相次いでいます。携帯市場においては、衝撃及び防塵機能を持つフォームが世界的に最新機器へ採用されており、売り上げは堅調です。最近買収した、韓国の高機能フォームメーカーの操業も順調で、当事業部の第2四半期売り上げの10%を占めています。

2. 高周波基板材料

2010年第2四半期の売り上げは\$33.6百万ドルで、前年同期比で37%アップしました。当事業部は、防衛用途とその他、高信頼性が求められる市場において大きな強みを持っています。また、ワイヤレスインフラ市場における需要も売上増加に大きく貢献いたしました。主に北米、中国、及びヨーロッパからの注文が予測より多く入りました。

3. パワーディストリビューションシステム(バスバー)

2010年第2四半期の売り上げは\$10.1百万ドルで、前年同期は\$9.7百万ドルでした。売上増加の主な要因はアジアにおけるサステナブルエナジー用途への需要の増加です。パワーディストリビューションシステムのヨーロッパにおける需要はほぼ横ばいですが、アジアにおいては引き続き伸びています。

4. 合併事業

ロジャースが50%保有する合併企業における2010年第2四半期の売り上げは\$22.9百万ドルで、前年同期では、\$23.3百万ドルでした。2010年3月31日付けで三井化学との合併会社ポリイミドラミネートシステム社は100%ロジャース

の部門となりました。昨年に比べてイノアック社との中国に於ける合弁と台湾の長春プラスチック社との合弁売り上げが非常に伸びました。